



LIXIL

オープンウィンスライディング デュオ シンフォニー (枠) 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。


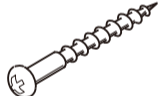
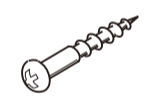

▲注意

- 思わぬケガをするおそれがありますので下記事項をお守りください。
 - ・組立て後の製品重量は最大で約50kg (枠)、約80kg (障子1枚) になります。施工は対応する人数で行ってください。
- サッシ下枠が垂下がり、障子脱落のおそれがあるため下記事項をお守りください。
 - ・障子建込み前に、下枠取付け受け材 (窓台) の下枠室内側ブラケット両脇を土台に30mm以上かかる長いねじ (別途) で固定してください。(本文中の図参照)
 - ・上下枠室外側固定フィンおよび下枠室外側ブラケットを外側躯体とのすき間がないように丸木ねじで固定した後に下枠室内側ブラケットを丸木ねじで固定してください。(本文中の図参照)
 - ・開口部を付け枠などでふかさ場合は、一体物と同じ強度になるように取付けてください。
 - ・必ず指定の木ねじで枠を固定した後、障子を建込んでください。
- 漏水の原因となるおそれがありますので下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ (別売り) を張ってください。障子収納部も外壁仕上げと同様に防水施工・外壁仕上げをしてください。(本文中の図参照)
 - ・防水施工の際、排水経路をふさがないように注意してください。
 - ・収納部内部に大量に入水すると、漏水の原因となるおそれがあるので、外壁シーリングは定期的に点検・補修を行ってください。
 - ・下枠前面には水抜き穴がありますのでふさがらないでください。
 - ・浴室には使用しないでください。

■取付け上へのお願い

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 施工前に樹脂形材が外れている場合は樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。

■取付けねじ一覧表

①	②	③	④
			
皿木ねじφ3.8×38 (縦枠・方立)	丸木ねじφ3.8×38 (上下枠室外側)	丸木ねじφ3.5×25 (下枠室内側ブラケット部)	皿木ねじφ3.1×20 (アングル部)

■枠の取付け

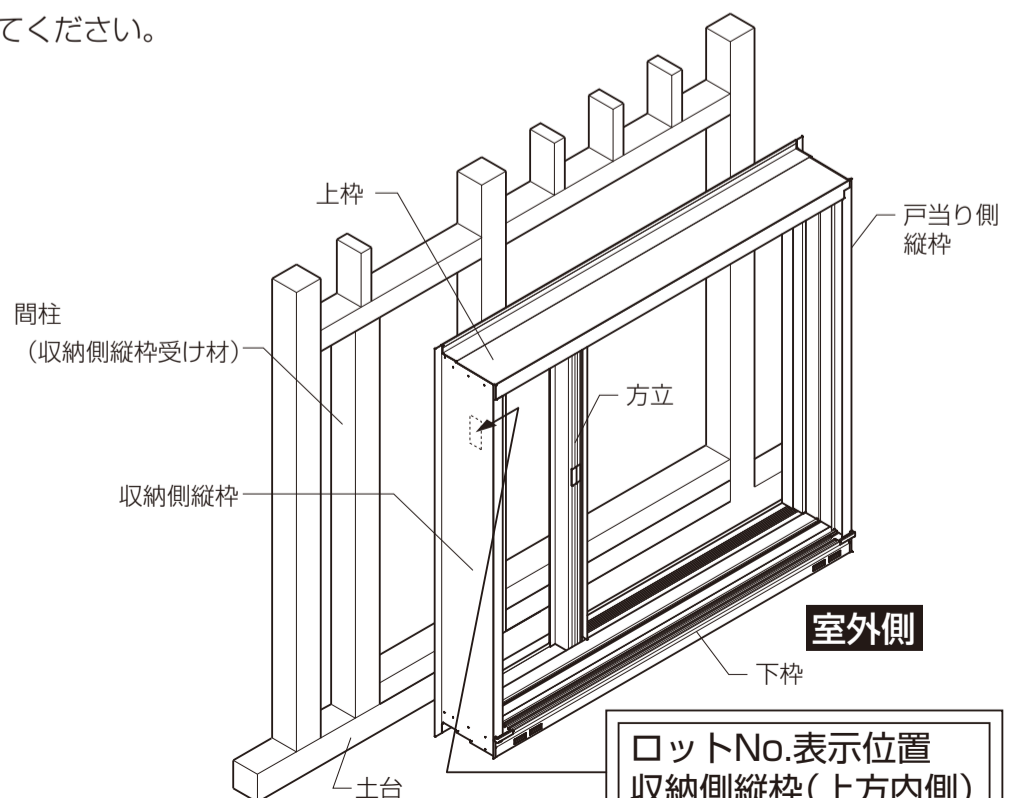
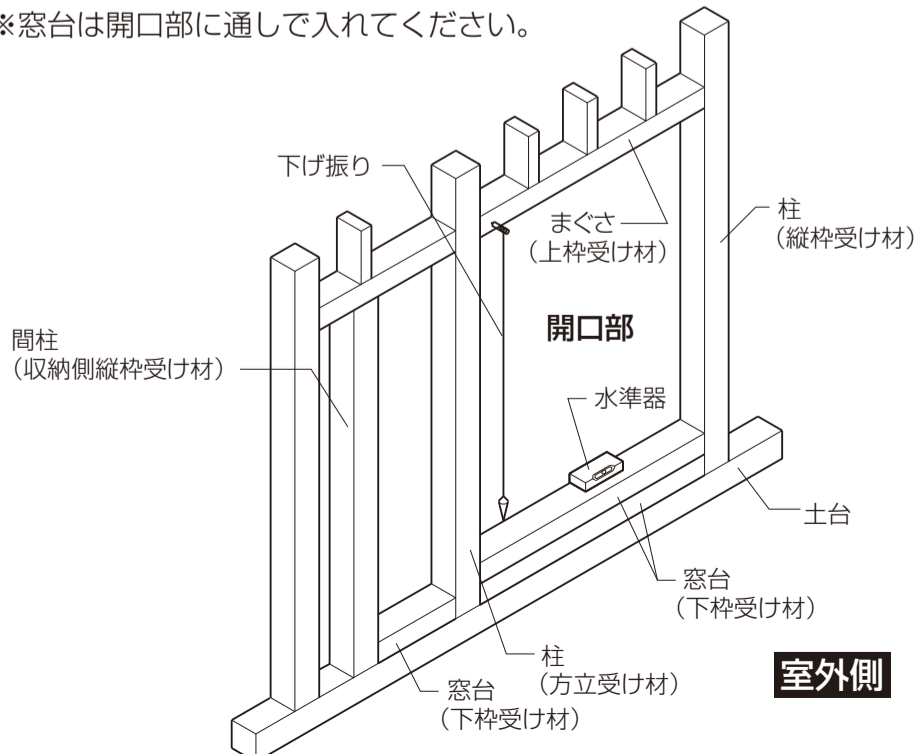
1 枠の固定

※開口部の水平・垂直の確認をしてください。

1 サッシ取付け前の開口づくり

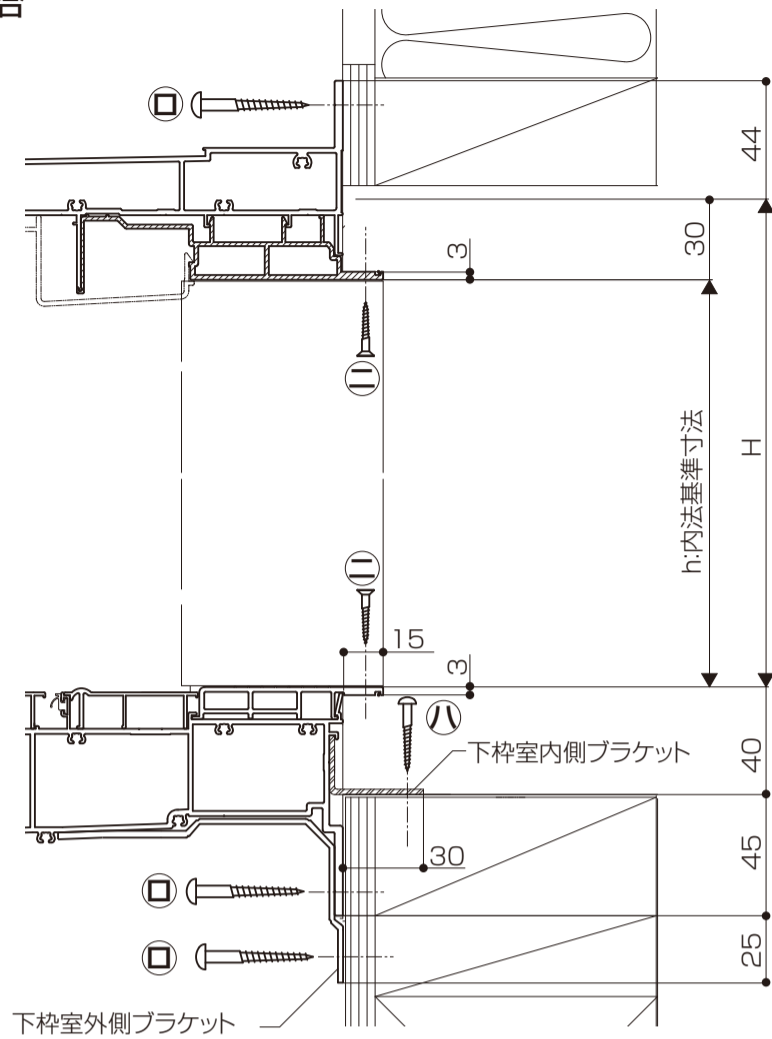
●サッシ枠固定ねじがくる位置に受け材 (まぐさ・窓台・柱・間柱) を設置してください。

※窓台は開口部に通しで入れてください。



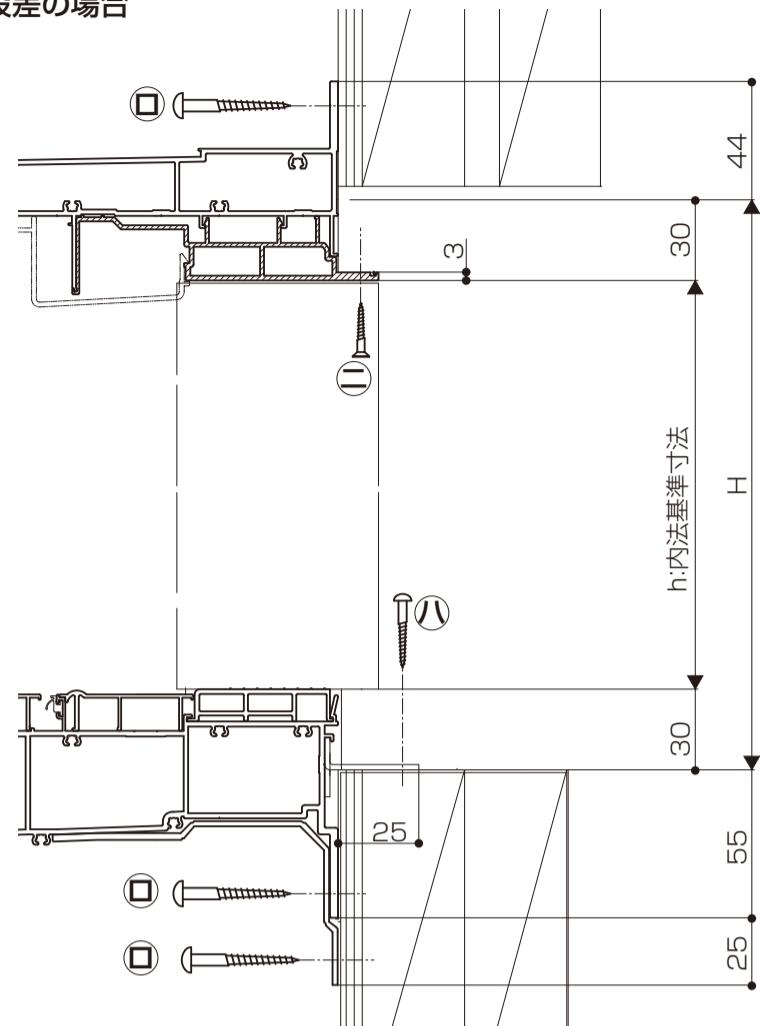
【縦断面図】

- 在来の場合
- 開口部

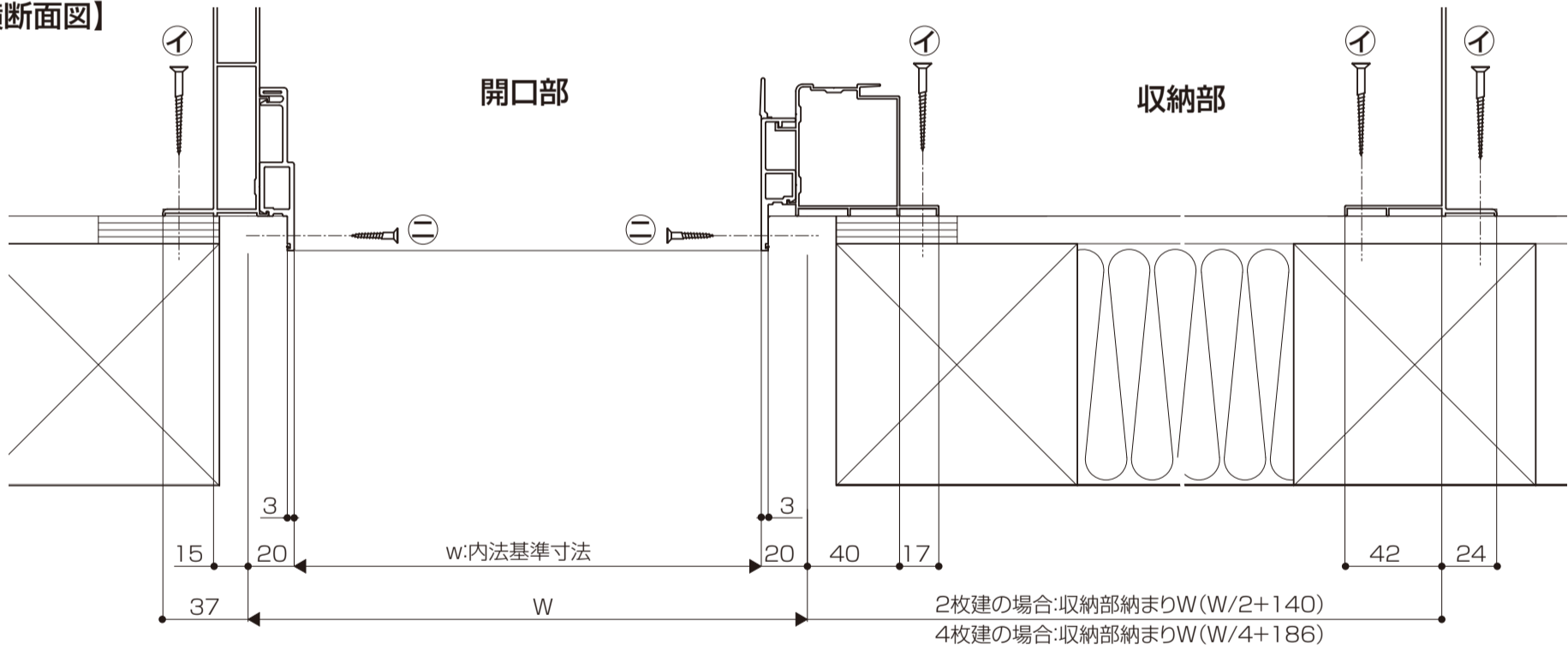


【縦断面図】

- 204単純段差の場合
- 開口部

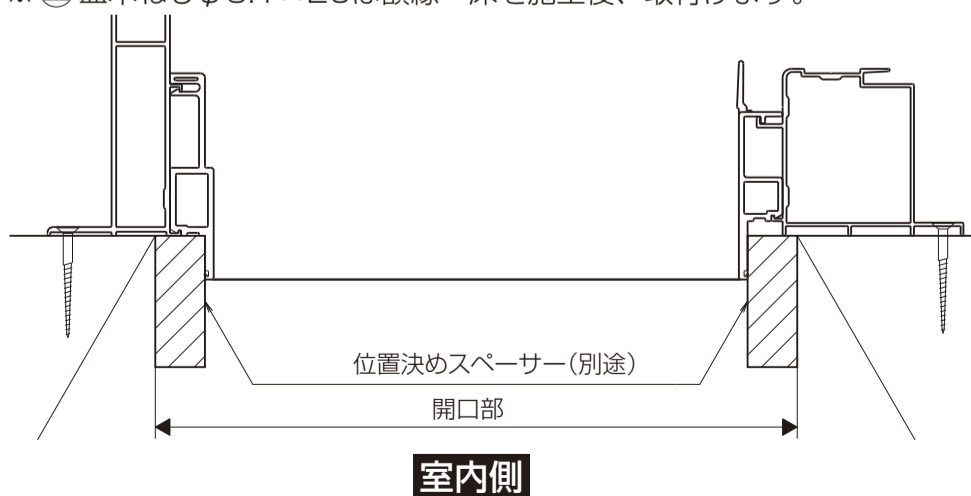


【横断面図】



② サッシ枠の固定

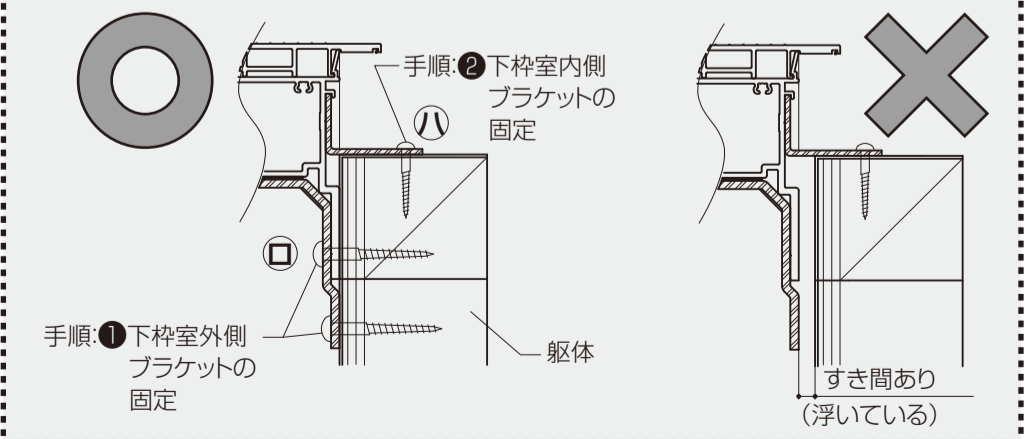
- 左右の位置決めをする際には、あらかじめ額縁が納まるスペースが確保されるように額縁の小片などの位置決めスペーサー（別途）を使用するなどして、左右の位置決めをして枠を固定してください。
- ※ 皿木ねじφ3.1×20は額縁・床を施工後、取付けます。



■ 下枠の固定

▲ 注意

- 上下枠室外側固定フィンおよび下枠室外側ブラケットを外側躯体とのすき間がないように丸木ねじで固定した後に、下枠室内側ブラケットを丸木ねじで固定してください。障子脱落のおそれがあります。

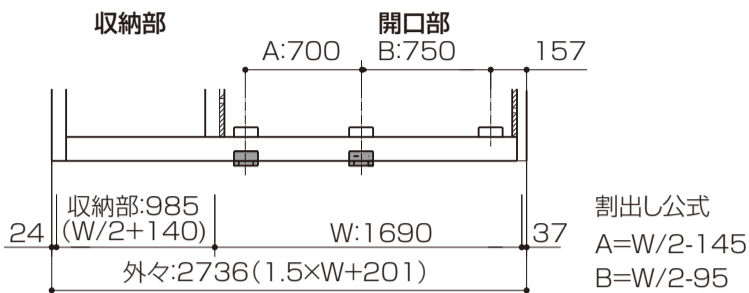


【下枠室外側・室内側ブラケットの取付け位置略図】

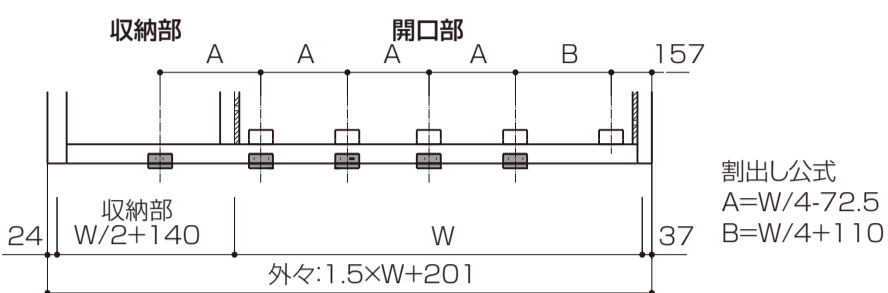
※下図取付け位置略図の は下枠室外側ブラケット、 は下枠室内側ブラケットを示す。

■2枚建L(2枚建Rの場合は対称)

●W<2000の場合(図中の寸法はW=1690の場合を示す)

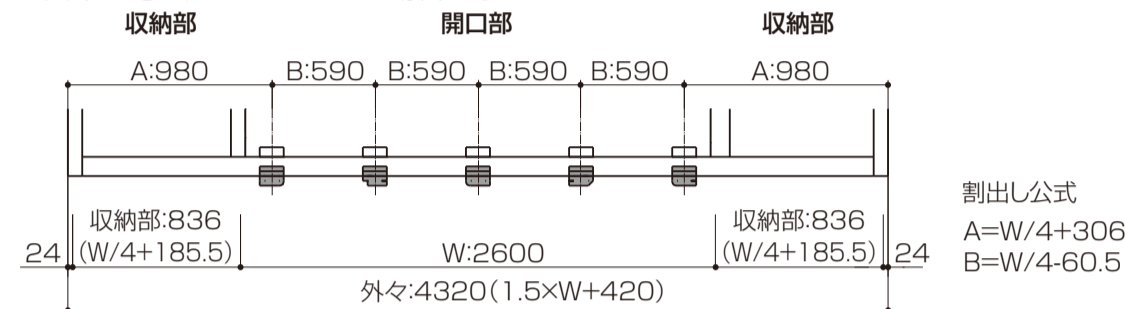


●W≥2000の場合



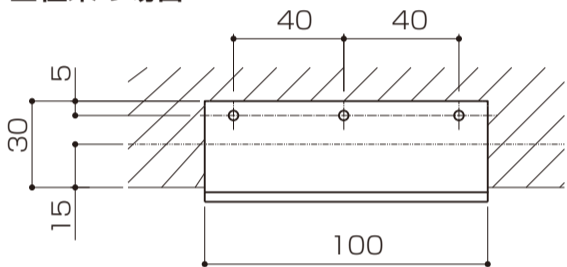
■4枚建

●図中の寸法はW=2600の場合を示す

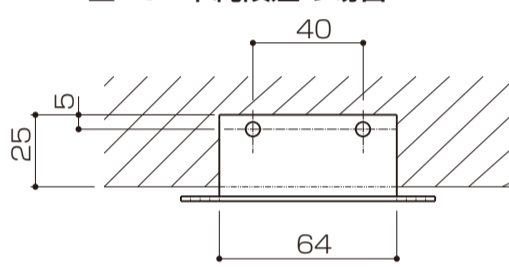


【下枠室内側ブラケット】

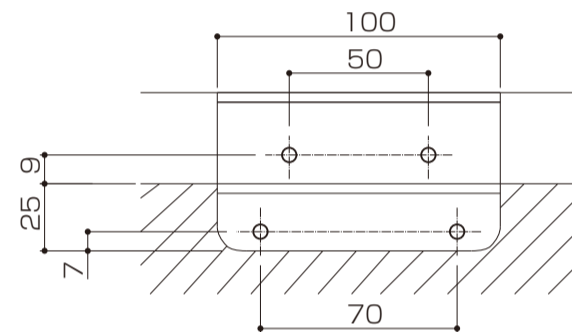
■在来の場合



■204単純段差の場合



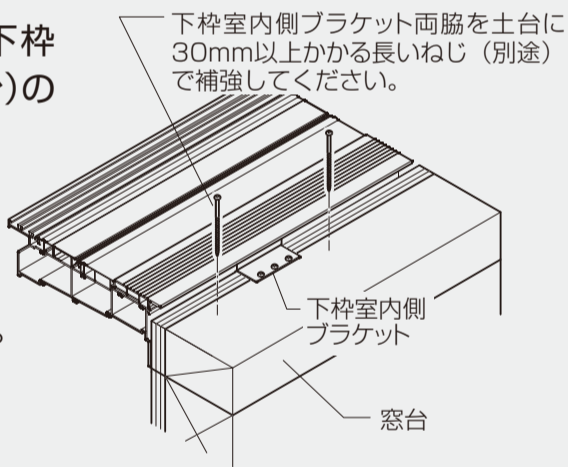
【下枠室外側ブラケット】



■サッシ枠取付け後の躯体補強

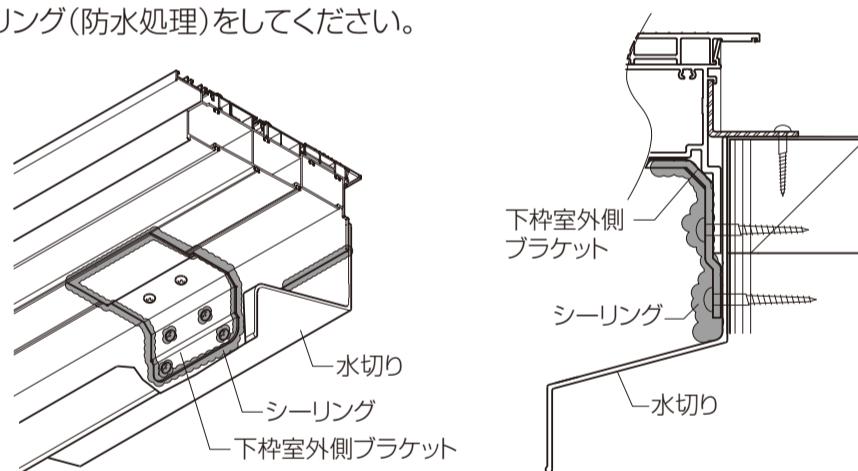
▲注意

●障子建込み前に、下枠取付け受け材(窓台)の下枠室内側ブラケット両脇を土台に30mm以上かかる長いねじ(別途)で固定してください。障子脱落のおそれがあります。



■ブラケット周りのシーリング

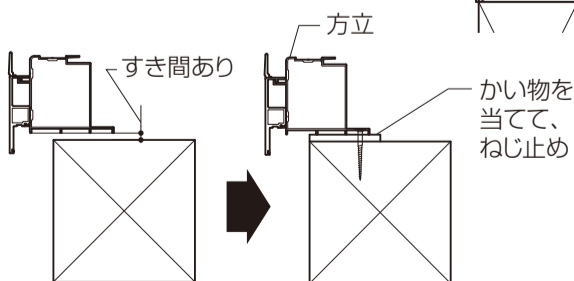
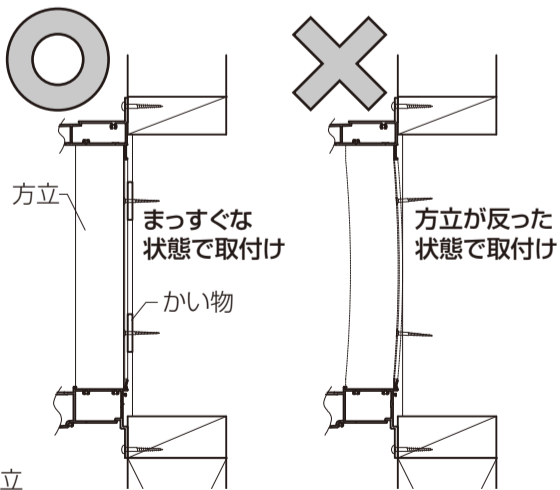
●下枠の下を外壁仕上げしない場合(水切りを使用される場合や2階のバルコニーに取付けされる場合など)には下枠室外側ブラケットの周りとなじ部にシーリング(防水処理)をしてください。



■方立部の固定

お願い

※躯体と方立の間にすき間が発生している場合は必ずかい物などをあてて、方立が反らないように固定してください。障子開閉時に煙返し部がぶつかって閉まらなくなるなどの不具合が発生するおそれがあります。



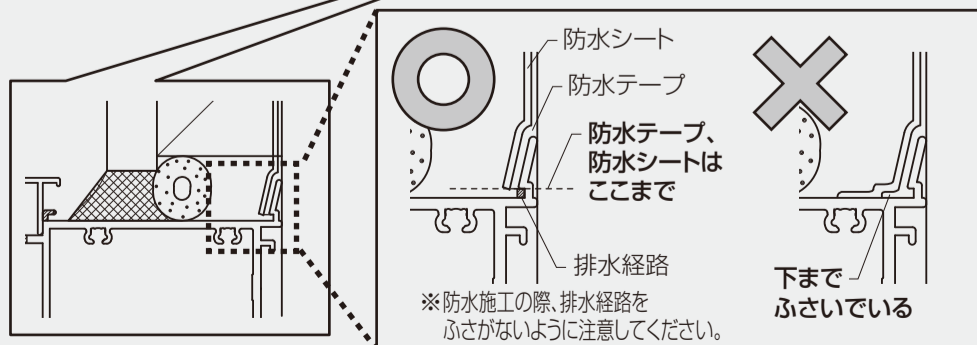
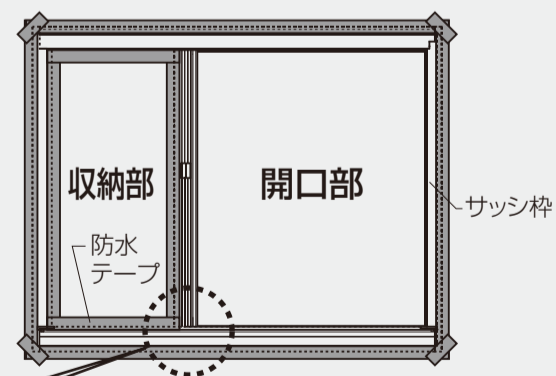
●取付け後の方立のソリは1.5mm以下にしてください。

■縦枠・上枠の固定

■サッシ枠周りおよび収納部の防水テープの張付け

▲注意

●本製品取付け後、必ず防水テープ(別売り)を張ってください。障子収納部も外壁仕上げと同様に防水施工・外壁仕上げをしてください。漏水の原因となるおそれがあります。



障子の建込み

1 事前確認

●障子の建込み、取外しは室外側からしかできませんので施工中の足場と取付け済みサッシ枠との間に障子を建込むためのスペース（障子を持って人が通れるスペースと人員）が確保できることをあらかじめ確認してください。

2 前作業

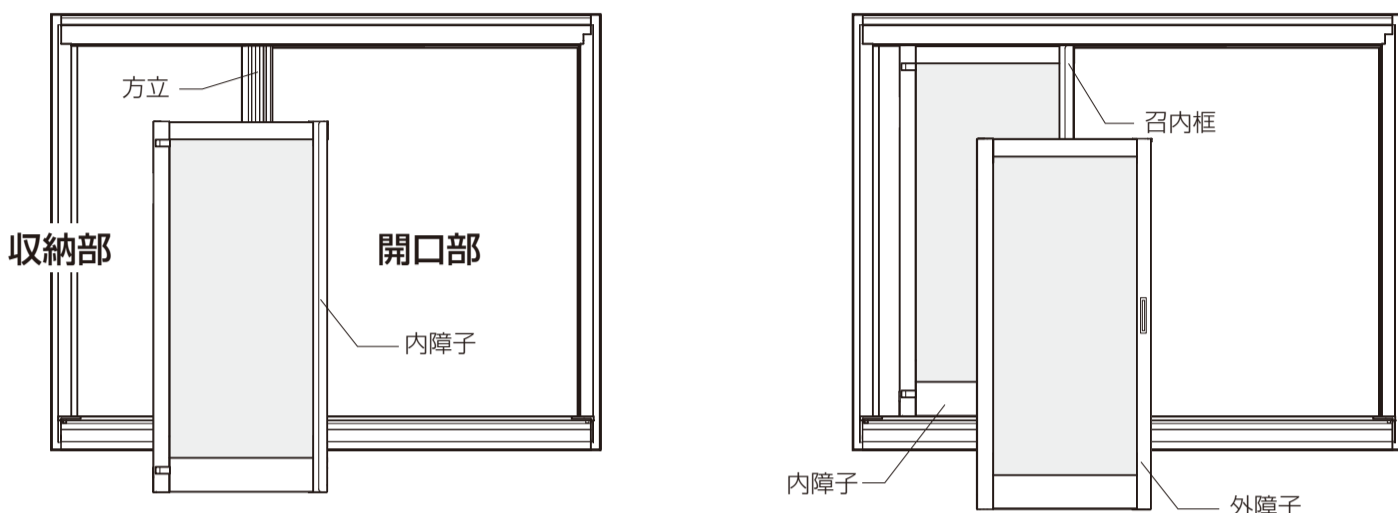
●枠取付け後、障子を建込む前に、下枠レール（収納部を含む）の清掃を行ってください。

3 障子の建込み

●障子を建込む際は、煙返しがかみあうように、先ず内障子を枠（方立）を挟む位置で建込み、次に外障子を召内框を挟む位置で建込んでください。

①内障子を、方立を背にして建込んでください。

②外障子を、召内框を背にして建込んでください。

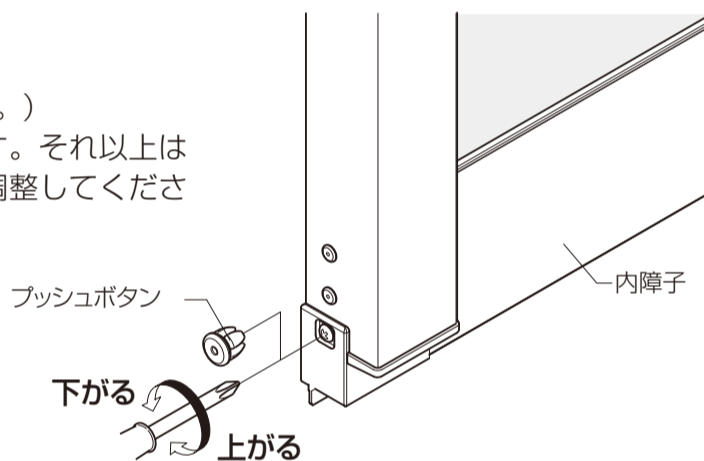


障子の建付け調整

1 戸車調整

●プッシュボタンをいったん外して調整します。（調整後は、プッシュボタンを押込んでください。）

※出荷時、障子は下がった状態にしています。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。



2 下部気密ピースの調整

●障子の収納側枠下部にはヒレの付いた部品（召外下部気密ピース）が付いていますので、障子建込み後下枠にヒレが当るように部品を下げてください。

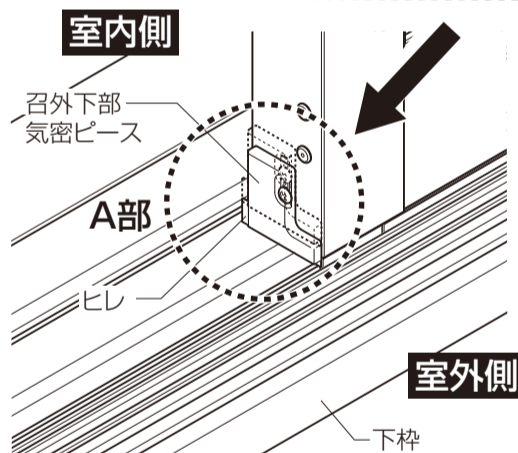
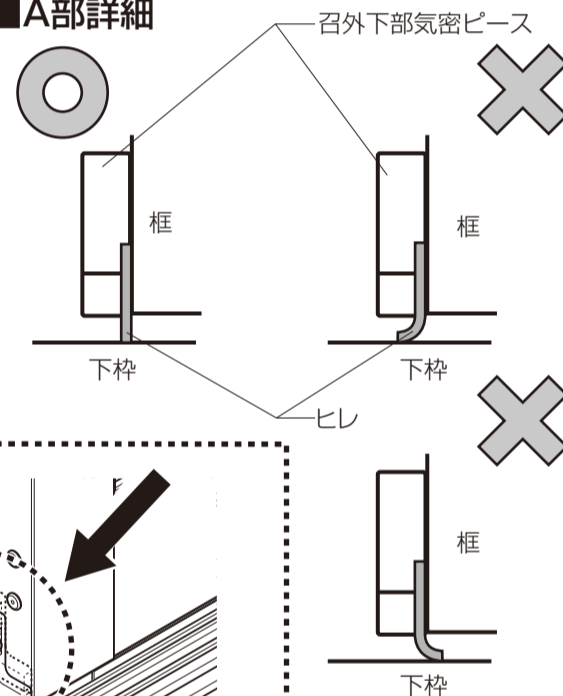
（2枚建の場合：2箇所、4枚建の場合：4箇所）

●施工後引渡し前に障子の建付け調整を行う場合も、あらためてレールの清掃を行い召外下部気密ピースのヒレが下枠に垂直に当るように調整をしてください。

3 戸先錠の取付けおよび障子の調整

●枠取付け、障子建込み、建付け調整が終わった後に、別紙（戸先錠取付け・障子調整説明書）にしたがって取付けおよび調整を行ってください。

A部詳細



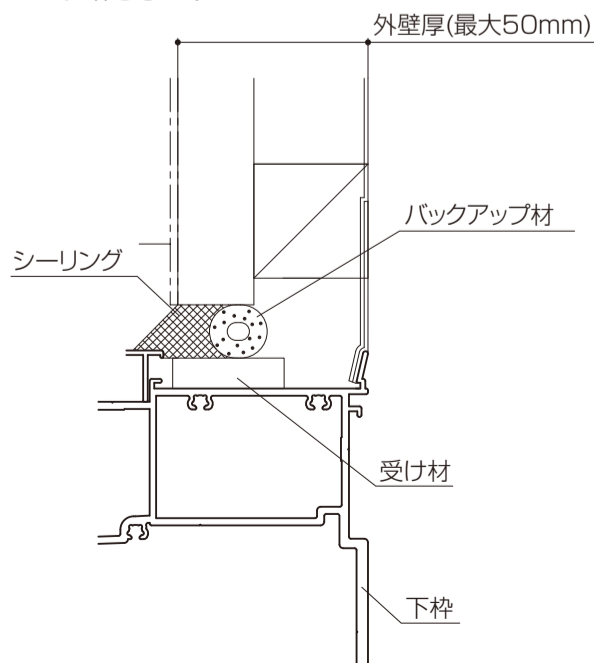
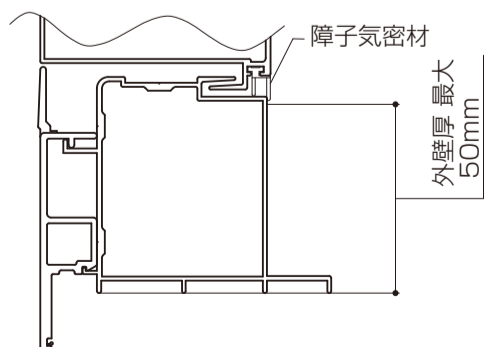
※下枠に対しヒレが垂直に当たるように下げてください。ヒレにヨレが無いように注意してください。

収納部外壁仕上げ

※枠の方立外側先端は障子の気密材が当たる位置ですので、シーリングの際にはマスキングテープなどを使用してシーリング材の付着を防止してください。

※収納部の外壁厚さは50mmまでとしてください。

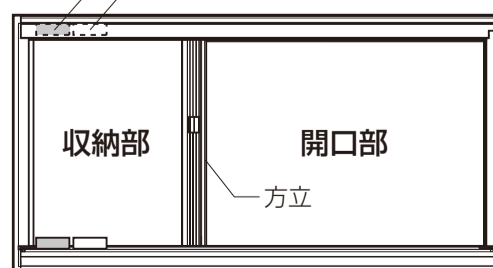
※収納部下辺は外壁の厚さによってはシーリングスペースがせまくなります。受け材（別途）をしくなどしてシーリングしてください。



●上下枠ストッパーを外してシーリングした場合は、上下枠ストッパーを元の位置に必ず取付けてください。下枠ストッパーには穴ふさぎ（プッシュボタン）も取付けてください。

※上枠には大型把手付障子を使用される場合のストッパー取付け穴が予めあけてあります。

出荷時ストッパー取付け位置
大型把手障子用ストッパー取付け穴



収納側ストッパー位置

